

第112期 中間株主通信

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

 **芦森工業株式会社**

大阪市西区北堀江3丁目10番18号（〒550-0014）

電話 / (06) 6533-9250

ASHIMORI

 **芦森工業株式会社**



株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループはこのたび平成23年4月1日から平成23年9月30日までの第2四半期決算を行いましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい環境下にあるなかで、サプライチェーンの立て直しが進み、持ち直しの動きが見られましたが、電力供給の制約や急激な円高に加え、デフレの影響、また雇用情勢悪化の懸念が残るなど、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、主力製品のコスト削減を中心とした合理化の徹底や、販売体制の一層の強化と新商品の開発による新規市場の開拓、事業領域の拡大を推し進めることで業績の向上に努めてまいりました。しかし、主力の自動車安全部品事業において、東日本大震災による自動車減産の影響を大きく受けたため、当第2四半期連結累計期間の売上高は、180億16百万円と、前年同期比7.1%の減収となりました。損益面でも、全社をあげた人件費、経費の削減活動に注力したものの、5億88百万円の経常損失（前年同期は1億26百万円の経常利益）、4億32百万円の四半期純損失（前年同期は15億50百万円の四半期純損失）となりました。

なお、中間配当金につきましては、諸般の状況を慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら見送らせていただきました。

今後の経済は、サプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に景気の持ち直し傾向が続くことが期待されますが、海外経済の変調による為替レート・株価の変動、デフレの影響や、雇用情勢に厳しさが残るなど、景気を下押しするリスクが存在しており、なお予断を許さない状況が続くと予想されます。

当社は、平成23年10月に、東南アジア地域における自動車安全部品等の調達および生産の効率化に向け、韓国現地法人「芦森韓国株式会社」を設立いたしました。また、さらなる需要の増加が見込まれる北米・中南米市

場における各自動車メーカーからの受注拡大を目指し、メキシコにおける現地法人設立も決定いたしました。今後、芦森韓国株式会社ならびにメキシコ現地法人を最大限に活用し、激化する企業間競争に打ち勝つために、グローバルな事業展開を行ってまいります。さらに、全社的な原価低減活動の推進によるコストダウン効果の最大化と既存商品の品質向上、また顧客のニーズを的確に捉えた新商品の開発による新規市場の開拓にも引き続き注力し、業績の向上と事業の一層の発展に全力をあげて取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

取締役社長 佐 久 雄

主要財務データ

	第111期中間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	第112期中間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで (当第2四半期連結累計期間)	第111期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
■ 売上高 (百万円)	19,397	18,016	39,856
■ 営業利益 (百万円)	90	△ 580	751
■ 経常利益 (百万円)	126	△ 588	792
■ 四半期(当期)純利益 (百万円)	△ 1,550	△ 432	△ 2,970
■ 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	△ 27.36	△ 7.64	△ 52.43
■ 総資産 (百万円)	34,134	32,730	33,363
■ 純資産 (百万円)	13,595	11,690	12,246
■ 1株当たり純資産額 (円)	239.54	206.06	215.72

(注)△は、営業損失、経常損失、四半期(当期)純損失、1株当たり四半期(当期)純損失を表しております。

自動車安全部品事業



シートベルト、エアバッグ、自動車関連用品（内装品その他）は、特に第1四半期において東日本大震災の影響による自動車メーカー各社の減産により売上が低迷したため、前年同期に比べ、売上は減少いたしました。

この結果、当事業の売上は132億84百万円と、前年同期に比べ14.7%減少いたしました。

パルテム事業



パルテム事業の各分野における売上につきましては、下水道分野、ガス分野で好調に推移したものの、農業用水分野とプラント分野については減少いたしました。また、「緊急排水ホース」は、東日本大震災による需要の急増があり、売上が大幅に増加したほか、切削可能構造材「SZパイプ」も売上を伸ばし、業績に寄与いたしました。

この結果、当事業の売上は22億46百万円と、前年同期に比べ59.2%増加いたしました。

機能製品事業

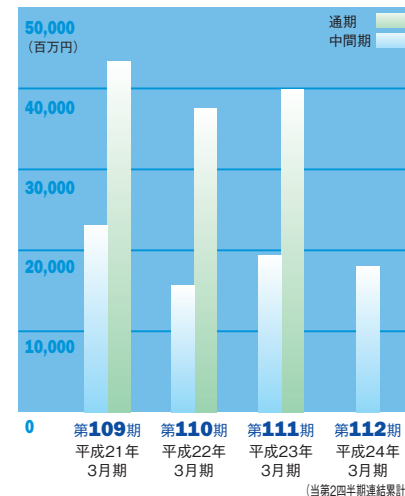


自治体の財政縮小による官公需低迷のなか、「ジャストップ」をはじめとした防災関連商品の受注が好調に推移し、売上が増加いたしました。しかし、消防用・消火栓用ホースにつきましては、売上は低迷いたしました。また、「エアロール・システム」をはじめとする物流省力化関連商品や、「ワイヤー式安全ブロック」は、旺盛な需要に支えられ、売上を伸ばしたほか、ロープは、船舶用の新商品受注が好調に推移したことにより売上が増加いたしました。

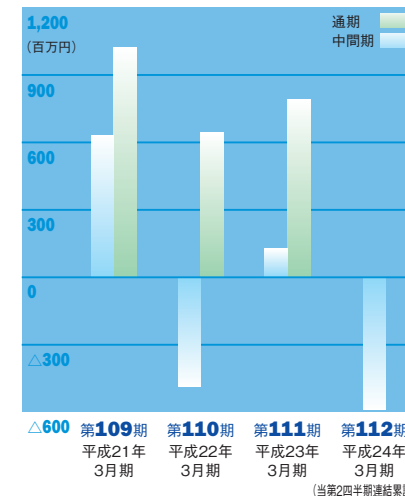
この結果、当事業の売上は24億76百万円と、前年同期に比べ3.3%増加いたしました。

業績の推移

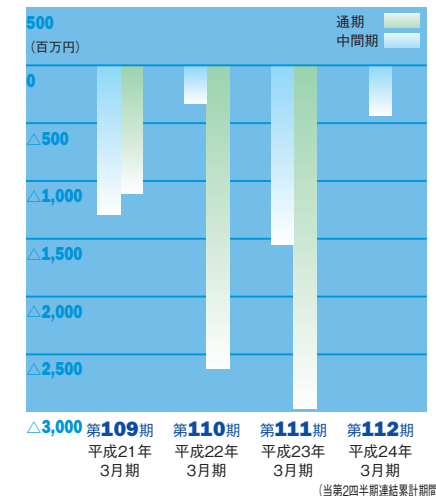
●売上高



●経常利益

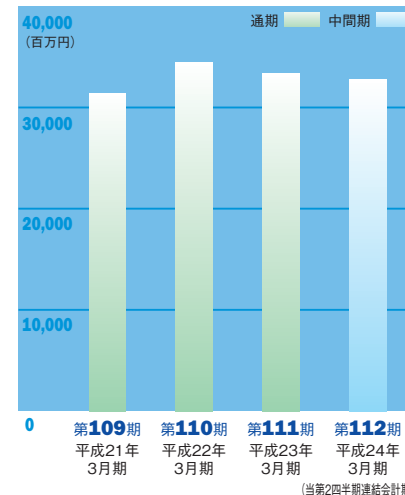


●四半期(中間・当期)純利益

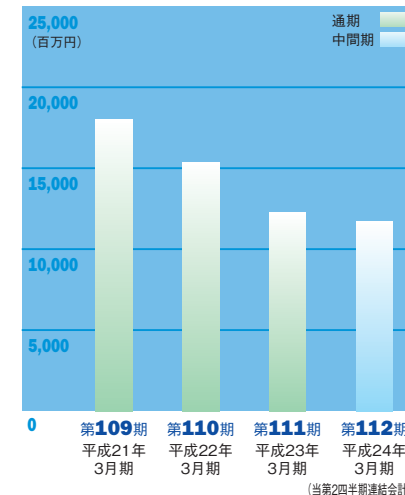


財政状態の推移

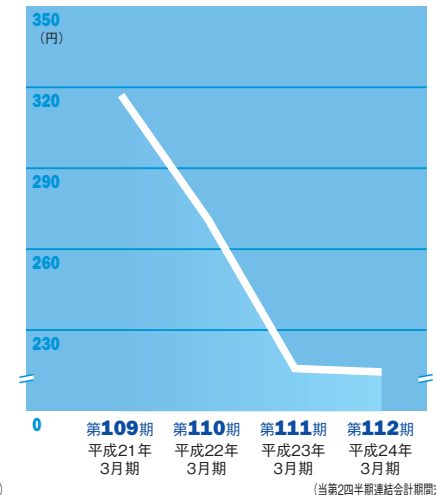
●総資産



●純資産



●1株当たり純資産額



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	第112期中間	第111期中間	第111期
	平成23年9月30日現在 (当第2四半期連結会計期間末)	平成22年9月30日現在	平成23年3月31日現在
資産の部			
流動資産	19,631	20,323	20,463
現金及び預金	3,176	2,601	2,730
受取手形及び売掛金	9,617	10,266	9,716
たな卸資産	5,597	6,107	6,329
繰延税金資産	742	775	980
その他	506	581	716
貸倒引当金	△ 9	△ 9	△ 9
固定資産	13,098	13,811	12,899
有形固定資産	9,645	9,649	9,664
建物及び構築物	3,618	3,596	3,608
機械装置及び運搬具	2,006	2,097	2,033
工具器具備品	719	935	797
土地	2,730	2,734	2,733
リース資産	42	28	44
建設仮勘定	528	255	447
無形固定資産	293	339	324
投資その他の資産	3,159	3,823	2,910
投資有価証券	1,600	1,639	1,643
長期貸付金	23	19	25
繰延税金資産	1,430	2,023	1,131
その他	190	197	191
貸倒引当金	△ 84	△ 55	△ 81
資産の部合計	32,730	34,134	33,363

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	第112期中間	第111期中間	第111期
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで (当第2四半期連結累計期間)	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	18,016	19,397	39,856
売上原価	16,582	17,383	35,332
売上総利益	1,434	2,014	4,523
販売費及び一般管理費	2,014	1,923	3,771
営業利益(△損失)	△ 580	90	751
営業外収益	106	73	166
受取利息	10	3	10
受取配当金	14	14	24
雑収入	80	56	131
営業外費用	114	37	125
支払利息	25	6	24
雑損失	89	31	101
経常利益(△損失)	△ 588	126	792
特別利益	220	100	100
固定資産売却益	173	100	100
補助金収入	46	—	—
特別損失	37	1,767	2,964
固定資産処分損	33	7	27
投資有価証券評価損	—	—	98
ゴルフ会員権評価損	3	4	7
会員権評価損	—	13	13
貸倒引当金繰入額	—	—	25
退職給付費用	—	13	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	27	27
製品改善対策費	—	500	500
防災製品補償損失引当金繰入額	—	1,200	2,250
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△ 406	△ 1,540	△ 2,070
法人税、住民税及び事業税	89	47	246
法人税等調整額	△ 61	△ 39	648
少数株主損益調整前四半期(当期)純損失(△)	△ 434	△ 1,547	△ 2,965
少数株主利益(△損失)	△ 1	2	5
四半期(当期)純損失(△)	△ 432	△ 1,550	△ 2,970

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	第112期中間	第111期中間	第111期
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで (当第2四半期連結累計期間)	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
税金等調整前四半期(当期)純損失	△ 406	△ 1,540	△ 2,070
減価償却費	757	812	1,650
売上債権の増減額	72	1,491	2,025
たな卸資産の増減額	704	△ 1,025	△ 1,264
仕入債務の増減額	△ 878	△ 498	△ 442
その他	△ 1,128	244	△ 778
小計	△ 879	△ 516	△ 880
利息及び配当金の受取額	27	19	37
利息の支払額	△ 27	△ 6	△ 21
法人税等の還付額	57	29	29
法人税等の支払額	△ 204	△ 167	△ 237
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,026	△ 641	△ 1,072
有形固定資産取得による支出	△ 737	△ 1,263	△ 2,416
その他	31	△ 38	△ 96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 705	△ 1,301	△ 2,512
短期借入金の純増減額	2,100	886	2,686
その他	△ 88	1,121	1,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,011	2,008	3,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16	△ 23	△ 70
現金及び現金同等物の増減額	262	41	138
現金及び現金同等物の期首残高	2,527	2,389	2,389
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,790	2,431	2,527

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS トピックス

メキシコ現地法人設立について

自動車生産が今後も増加することが予想される北米・中南米市場における各自動車メーカーからの自動車用シートベルト等の受注拡大を目指して、メキシコ・グアナファト州に現地法人を設立することを平成23年11月に決定いたしました。

メキシコ現地法人の概要

- (1)会社名 Ashimori Mexicana S.A. de C.V. (仮)
- (2)所在地 メキシコ合衆国 グアナファト州
- (3)設立 平成24年1月(予定)
- (4)操業開始 平成25年9月(予定)
- (5)主な事業の内容 自動車用シートベルト・エアバッグ・内装品等の製造・販売
- (6)資本の額 約6億円
- (7)出資比率 芦森工業株式会社 100%



芦森韓国株式会社を設立

当社は、平成23年10月に、東南アジア地域における自動車安全部品等の調達および生産の効率化に向け、韓国現地法人「芦森韓国株式会社」を設立いたしました。

芦森韓国株式会社の概要

- (1)会社名 芦森韓国株式会社
- (2)所在地 大韓民国 江原道 原州市
- (3)設立 平成23年10月
- (4)主な事業の内容
 - ・自動車部品の製造、仕入、販売、輸入、輸出
 - ・合成繊維糸、樹脂製品、金具等の部品および製品の仕入、販売、輸入、輸出等
- (5)資本の額 約8百万円
- (6)出資比率 芦森工業株式会社 100%

今後は、メキシコ現地法人をタイ、中国、インドに次ぐ第4の海外における主要製造拠点として位置づけ、グローバルな事業展開を推進するとともにグループ経営の基盤整備と効率化をはかってまいります。

また、芦森韓国株式会社につきましては、有効に活用することで、芦森工業グループ各社のコスト競争力の強化、受注活動の強化、サプライチェーンの分散を目指してまいります。

消防用ホースの個別検定再開について

平成20年10月に発覚いたしました当社製消防用・消火栓用ホースの個別検定受検時における不正問題により、株主のみなさまに多大なるご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

平成23年4月に消防用ホース4型式について型式申請を行い、この10月に、型式承認をいただきました。また、消防用ホースの個別検定につきましても検定再開の運びとなりましたことをご報告いたします。

当社は、本不正問題につきましては真摯に反省し、今後、このような事態が二度と起こらないよう、コンプライアンス体制の強化を経営の重要課題に位置づけ、今後も引き続き注力してまいります。また、誠実な製品作りを通して、消防用ホース市場における信頼回復に努めてまいります。

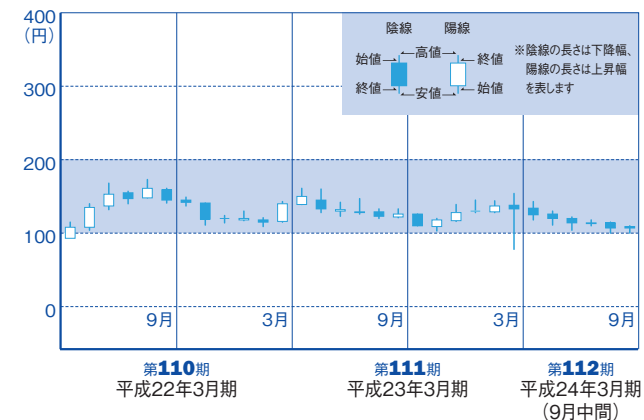


株式に関する事項 (平成23年9月30日現在)

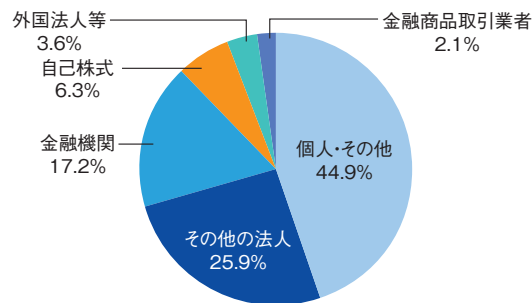
株式の総数

発行可能株式総数	220,000,000株
発行済株式の総数	60,569,390株
株主数	8,216名

株価の推移 (東京証券取引所)



所有者別株式分布状況 (平成23年9月30日現在)



大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東洋紡績株式会社	9,201,152	16.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,741,500	3.1
芦森工業取引先持株会	1,498,000	2.6
芦森工業従業員持株会	1,461,538	2.6
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,422,000	2.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,233,000	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	1,168,593	2.1
日本生命保険相互会社	956,188	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	803,000	1.4
松井証券株式会社	685,000	1.2
合計	20,169,971	35.5

(注) 持株比率は自己株式(3,805,159株)を控除して計算しております。

会社の概要 (平成23年11月30日現在)

創設	業立	明治11年11月7日 昭和10年12月27日
資本金		8,388,681,265円
発行済株式総数		60,569,390株
本社		大阪市西区北堀江3丁目10番18号 (〒550-0014) 電話/ (06) 6533-9250
東京支社		東京都中央区日本橋室町4丁目3番16号 柳屋大洋ビル(〒103-0022) 電話/ (03) 3246-7300
大阪工場		大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号 (〒566-0001) 電話/ (06) 6388-1212
篠山工場		兵庫県篠山市西町40番地の2 (〒669-2342) 電話/ (079) 552-1177
福井工場		福井県小浜市多田2号雲月8の5 (〒917-0026) 電話/ (0770) 56-1212
浜松工場		浜松市南区小沢渡町26番地 (〒432-8063) 電話/ (053) 445-1522
連結対象子会社		芦森エンジニアリング(株)、芦森工業山口(株)、ジェット商事(株)、芦森不動産(株)、アシモリセンイ(株)、芦森科技(無錫)有限公司、Ashimori India Private LTD.、芦森韓国株式会社、ASHIMORI (Thailand) CO.,LTD.

持分法適用
関連会社 (株)赤尾

役員 (平成23年11月30日現在)

取締役社長	缶	文	雄
常務取締役	高	橋	正雄
常務取締役	川	内	正樹
常務取締役	八	木	伊三郎
取締役	麓		利親
取締役	堂	園	栄一
取締役	山	本	重明
常勤監査役	庄	田	登
常勤監査役	山	田	光穂
監査役	田	保	高幸

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金受領株主 確定日	期末配当金の基準日 3月31日 中間配当金の基準日 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とします。 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社インターネットホームページアドレス http://www.ashimori.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話無料) 0120-094-777
株式上場市場	東京証券取引所 第1部 大阪証券取引所 第1部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社インターネットホームページ
<http://www.ashimori.co.jp/>

決算情報等、最新の会社情報を当社ホームページに掲載しております。
株主・投資家のみなさまのお役に立てるよう、掲載情報の充実をはかってまいりますので当社ホームページをご活用ください。